



「私の中学時代」という物語を生きる

3月、本年度最後の月となりました。3年生は卒業、1、2年生は学年の修了が間近に迫ってきています。

私たちは一人一人が「私の中学時代」という物語の主人公です。この物語の始まりは入学であり、終わりは卒業です。

ここで大切なことは、私たちはみんな、「私の中学時代」はいずれ終わる、卒業することを知って生きているということです。

卒業することは、入学した時から知っています。だからこそ私たちは、「私の中学時代」の物語の中の一つ一つ、例えば「2020年の物語」「学級での物語」「仲間との物語」の一瞬一瞬を大切に、充実したものにしようと思えることができます。

もし、中学時代が永遠に終わらないならば、あるいは終わりがあるということを知らないならば、誰も毎日有意義に生きようとは思わないでしょう。終わりがあると知っているからこそ、懸命に頑張ることができるのです。

「私の中学時代」は様々な困難にぶつかる時期でもあります。失敗したり挫折したりすることもたくさんあります。それでもはい上がって、未来に向かって力強く前進するためには、つらいことや苦しいこと、自分にとって受け入れがたいことであっても、目を背けてはなりません。

頑張ることで、「今の自分」があるのは「あのことがあったから」「あの人がいたから」と、後になって感謝とともに振り返ることができます。そうすることで、「私の中学時代」の物語は、より輝きを増すものになるでしょう。それが成長へとつながるからです。

今年の物語が終わりを迎えようとしています。

「私の中学時代」の中の今年1年間を、「成長の物語」と自分で語れる……そんな一年のいい締めくくりに期待しています。



3年生「お楽しみ給食」を堪能

2月22日（月）、3年生の給食は「お楽しみ給食」でした。新型コロナウイルス感染防止の観点から、例年のバイキング形式では行えませんでした。多様なメニューから自分が選択したメニューに、皆舌鼓を打ちました。

保育所、幼稚園、小学校、中学校と続いてきた給食も、あとわずかとなりました。どんな時に、誰と食べた、どんなメニューが、思い出に残っているでしょうか？

